

広報

あけぼの

R6.3.29 発行

能生の魅力を
彩り鮮やかに表現
冬の夜空を明るく照らす

第4回能生駅イルミネーション事業

能生商工会女性部

令和5年
11.18から
令和6年
1.31まで



▲他部会と協力して設置準備



▲点灯式にて記念の品を配布



▲駅構内にクリスマスツリー設置



▲点灯式にてツリーへ絵馬掛け

おしらせ

能生地域の出来事と商工会の取組みをより分かりやすく! より鮮明に! “カラー”でお届けしています!!

年頭のあいさつ



能生商工会 会長
大貫 慶一
(株)大貫板金工業

あけましておめでとございます。

皆さまには、日ごろより能生商工会の活動に対し格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

まずもって、本年1月1日の能登半島地震に被害にあわれた方々には、心からお見舞い申し上げます。すでに2カ月以上経過しておりますが、被害状況は甚大であり、石川、福井、富山、新潟と広範囲になつております。震源地に近い石川県では、まだまだ多数の方が、厳しい避難生活を余儀なくされており、被災者の生活支援も課題となつております。まだまだ復興とまでは言えませんが、一日も早く被災された皆様が、通常の生活を過ごせる日が来ますよう心からお祈り申し上げます。

さて、現下の日本経済はウクライナ問題や急激な円安、更にはエネルギー・原材料価格の高騰など、地域を支える小規模事業者や中小企業者にとつて、先行きが見通せない厳しい経営環境が続いています。さらにコロナ禍明けの年となった昨年は、順調にインバウンド需要は回復し、景気を押し上げたと言われておりますが、地方ではその実感を得られず、

脱コロナを原動力とする景気回復は道半ばに終わりました。また、人手不足や高齢化などの構造変化に加えて、デジタル社会や脱炭素社会への転換、働き方改革、消費税およびインボイス等の制度改革など、様々な課題に直面した一年となりました。

このような厳しい状況下ではありますが、商工会は経営改善普及事業として、地域の小規模事業者・中小企業者に対し、創業・事業承継、販路開拓など様々な支援や、経営、税務、金融、労働支援等を実施してまいりました。今後、一層、信頼される商工会を目指し、地域の事業者が希望をもつて挑戦・成長できるように引き続き、事業者に寄り添い、ともに前に進んでいく伴走型支援に力を注いでまいります。

また、地域振興事業では、昨年はコロナ禍明けを象徴する能生ならではの「能生ふるさと海上花火大会」を実施いたしました。当日は多数の来場者があり、能生の夏のひと時を何年かぶりに体感できたものとなりました。前年度から引き続き実施している事業といたしましては、女性部が中心となつた「能生駅イルミネーション事業」など、地域住民の皆さんの活カにつなげるような事業を継続実施させていただきました。今後も商工会は、この経営改善普及事業と地域振興事業を柱に進んでまいりたいと思っております。

能生地域だけでなく、地方の課題といえます。地域は人口減少による地

域需要の減少や、経営者の高齢化による

廃業の増加といった構造的課題や、都市部と地方との経済やインフラなどの面で地域間格差が生じ、地域経済の多様性と活性化も課題となっております。さらに、地域社会の結束や地域コミュニティの強化も重要な課題となっております。今後、自立した地域経済を確立・維持していく上で、個別事業者の経営支援と、地域を元気にする担い手の役割を担う、商工会の果たすべき役割が一層、重要になつてきております。今後も商工会は「会員あつての商工会」を原則のもと、スケールメリットをいかした効果的な経営支援体制の構築や、同業種、異業種の交流による事業の活発化などのメリットを、会員、役員で十分に共有し、真に経営支援の強化と会員サービスの向上につながる商工会となるべく今後も検討を行つてまいります。地域に根差した唯一の経済団体として「会員あつての商工会」であることを改めて認識したうえで、これからも能生地域とともに発展し、地域の産業と雇用、住民を支える小規模事業者や中小企業者にとつて、なくてはならない、よりどころとして、あり続けるべく、その役割と責務を全うしてまいり所存であります。

結びに、皆さまにとって良い年となることをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

糸魚川市議会議員・行政と商工会役員との懇談会

令和5年11月10日(金)に糸魚川市議会議員(能生地域居住5名)、行政能生事務所長・商工観光課長と商工会役員との懇談会を開催させていただきました。

当日は、初めに商工会から合併検討協議終了を踏まえた「商工会の今後について」の説明させていただきました。その後、出席議員の皆様、糸魚川市当局から情報提供をいただき、参加者にて意見交換会を開催させていただきました。意見交換では、権現荘の問題や火葬場存続の件など能生地域ならではの課題や課題について意見交換をさせていただきました。終了後は、懇親会も開催させていただきました。大変有意義な会となりました。今後も地元議員、行政と連携し、能生地域及び糸魚川市の経済活性化と商工観光の発展を目指して取り組んでまいります。



2/29(木)~3/1(金) 先進地「豊洲“千客万来”」等 視察研修 「能生まち歩きガイドマップ」鋭意制作中

商業・サービス部会では、2月29日~3月1日にかけて、先進地の視察として東京の豊洲“千客万来”等へ赴き、研修をしてまいりました。〈豊洲場外 江戸前市場〉と〈東京豊洲 万葉倶楽部〉からなる“千客万来”は、この2月1日にOPENしたばかりの東京新名所。多彩な食が集う〈豊洲場外 江戸前市場〉では、豊洲市場の仲卸の店舗等が立ち並び、老若男女・国内外問わず多くのお客で賑わっていました。江戸の粋を市場全体から感じられ、多様なお客様が来場される上での接客対応やお客様の目を引く店舗づくりなど、様々な事業経営のヒントが得られました。また、〈東京豊洲 万葉倶楽部〉では、箱根・湯河原温泉の名湯が毎日運搬されており、東京都心の温泉郷と銘打ち、露天風呂や足湯庭園から望む東京湾を眺めながら、ゆったりとしたひと時を過ごせる施設と

なっています。その他、はとバスツアーに参加し、外国からの賓客をおもてなしする場として知られる“迎賓館赤坂離宮”や東京都指定有形文化財である百段階段を有する“ホテル雅叙園東京”など、日本の歴史・文化に触れる機会にもなりました。

本年度の部会事業としては、「能生まち歩きガイドマップ」の一新にも取り組んでおり、本記事作成時においては、掲載店舗や能生地域イベント情報について、地域マップに照らし合わせた校正を行っております。完成次第、会員事業所や地域内施設へ配布し、能生地域や皆様が営むお店の魅力発信に寄与していけたらと考えております。

次年度以降も、本部会では地域で頑張るお店を支える様々な施策を検討し、地域活性化に努めてまいります。

商業・サービス部会



▲迎賓館赤坂離宮にて記念撮影



▲豊洲場外 江戸前市場 外観



▲豊洲市場へ



▲江戸前市場から万葉倶楽部を臨む

視察研修実施、第70回能生ふるさと海上花火大会運営補助、 事業承継セミナーの開催等 各種事業を展開

本年度も各種事業を展開してまいりました。まず、視察研修事業を7月14日に実施させていただきました。視察先は、上信越自動車道北野牧工事現場を視察させていただき、生活や産業の基盤となるインフラ整備の状況について学ぶことが出来ました。その後、8月5日には4年ぶりに通常開催された「第70回能生ふるさと海上花火大会」の運営補助をさせていただきました。久しぶりに能生ならではの花火大会の開催となり、多数の来場者がありました。無事に終了することができました。11月24日には、糸魚川法人会能生支部と共催で、事業承継セミナーを開催させていただきました。事業承継は、企業や事業を先代から後継者へ引き継ぐ重要なプロセスです。これは家族経営の中小企業から大規模な企業まで様々な組織で発生する重要なテーマとなっており、経営者の引退や後継者の変更、事業の存続、企業の発展なども関与しています。今回の内容は①新潟県内における事業承継を取り巻く状況、②事業承継の基礎、③新潟県事業承継・引継ぎ支援センターの支援体制について学ぶ

ことが出来ました。事業承継は複雑なプロセスであり、計画と準備が重要です。十分な時間をかけて、関係者とのコミュニケーションを確保し、スムーズな承継を実現するためには様々な側面を考慮する必要があります。参加された皆様には、今後の事業承継について考えるよい機会にもなり、大変参考になった研修会でした。その後、講師先生も交え懇親会を開催し、有意義な情報交換や交流をすることが出来ました。

工業部会では、今後も部会員のため、お役に立てる情報の提供や事業活動を実施してまいりますので、引き続き当部会活動にご理解とご協力をくださるようお願い申し上げます。

工業部会



▲事業承継セミナー



▲講師：平野先生

部員の経営資質向上を目指す
「視察研修」実施

本年度も、部員のスキルアップを活動指針に掲げており、そのための事業として、事業所訪問による研修を実施いたしました。11月18日(土)に、「越後薬草蒸留所」のワークショップに参加し、各部門担当者からクラフトジンの製造販売や蒸留所建設に至る経緯、今後の更なる事業展開について伺いました。語られた様々な事業展開事例は、部員にとっても同地域内から発展し、今では“東京ウイスキー&スピリッツコンペティション 最高賞「ベスト・オブ・ザ・ベスト」”に選出されるなど世界に名を馳せるまでの活躍は感銘を受けるものがあり、参考とする事が多い視察となりました。

アフターコロナにおいて、本年度は能生ふるさと海上花火大会での売店出店など地域振興事業にも改めて力を注いでまいりました。次年度以降も、地域で事業を営む一員として、自らの資質向上に努めながら、地域活性化に貢献できるような事業も模索してまいります。



▲蒸留所内設備を説明いただく



▲蒸留所施設内見学



▲オリジナルジンのブレンド体験

令和5年度の後半戦も色々な事業を展開して参りました。

10月23日日帰り親睦研修旅行を実施。長野県安曇野・松本方面を巡りました。国宝松本城、大王わさび農場、安曇野ワイナリーと秋の信濃路を楽しみました。11月1日のおもてなし交流事業には、富山県射水市商工会女性部員14名が訪れ、能生のいいところ、美味しいものを紹介し、地域を超えた良い交流会となりました。また11月18日から能生駅イルミネーションを点灯。長く見たいと言う要望もあり例年より2週間早く設置しました。そして2月28日には親睦会を行い、中止になった新春交流会に代わるもので大勢参加し更なる親睦を深めました。

～令和5年度主な活動報告～

【総務委員会】

- ・ 通常総会(4/27)、監査会、正副部長会、常任委員会、合同委員会(3/5)
- ・ 第4回能生駅イルミネーション事業(11/18-1/31)
- ・ おもてなし交流事業/富山県射水市商工会女性部(11/1)
- ・ 女性部Instagram随時更新

【研修委員会】

- ・ 工業部会視察研修参加(7/14)上信越道 北野牧工事現場

【地活委員会】

- ・ 能生駅美化事業(6/7、8/24)、花いっぱい運動(6/7、11/8)
- ・ 能生地区祭り売店設置(8/26)
- ・ エコキャップ整理作業(9/29、2/21)
- ・ ボランティア収集活動(エコキャップ、リングブル、綿製布・タオル等)

【親睦委員会】

- ・ 日帰り親睦研修旅行(10/23)長野県安曇野・松本方面
- ・ 親睦会(2/28)

おもてなし交流事業に日帰り旅行、そしてイルミネーション、親睦会と事業を展開!



▲おもてなし交流事業
(射水市商工会女性部の皆さんと)



▲日帰り旅行(国宝松本城)

公式
Instagram
アカウント

Instagram



アカウント名:nou.shokokai.joseibu
URL : <https://instagram.com/nou.shokokai.joseibu>

10/1(日)「奴奈川姫と日本一の大ウス祭り」開催

奴奈川祭り実行委員会

当実行委員会が主催している「奴奈川姫と日本一の大ウス祭り」が10月1日に、マリンドリーム能生を会場に開催いたしました。

10月1日当日は、曇り時々雨の天気模様で海からの風も強めに吹き付けていたため、大ウス会館前での屋外開催を断念し、マリンホールのステージ等を活用して屋内開催で本年度は実施しました。

雄大な大ウス櫓の披露は出来ませんでしたが、奴奈川姫行列や巫女の舞、弁天太鼓演奏に加え、新たな取組として観客参加型の催し「子竜で障害物競争」を、ステージ及びその前面を使って、実施しました。様々な制約がありましたが、概ね、本祭の魅力を実行委員・スタッフが丸となって、演出できたと思っております。

次年度以降も、様々な課題を一つ一つ解決し、多くの方々に親しまれ、この能生地域で育まれた伝統芸能を誇りに活動が続けてまいります。



▲弁天太鼓演奏



▲集合写真



▲巫女の舞



▲子竜で障害物競争



長野冬季五輪金メダリスト 船木和喜選手トークショー開催

能生ライオンズクラブ

2月17日(土)能生マリンホールで、上越6クラブ(上越・上越直江津・妙高・大湯・能生・糸魚川)合同で招待事業実行委員会を立ち上げ開催致しました。当日は晴天に恵まれ、来場者・スタッフ約120人が船木選手のオリンピックの時の話やそれからのこと等いろいろな話を聞き、また金メダルを触らせて頂き、とても楽しいひと時を過ごすことができました。そして2月18日はシャルマン火打スキー場で、スキー教室を開催しました。今回この事業にご協力頂いた皆様本当にありがとうございました。



NICO を活用してみませんか

まずは総合相談窓口までお気軽にお問い合わせください。

NICO 総合相談窓口

☎ 025-384-0654

営業時間9:00~17:30(土日祝・年末年始除く)

✉ info@nico.or.jp

<https://www.nico.or.jp/>



各種商談会へ 出展しました

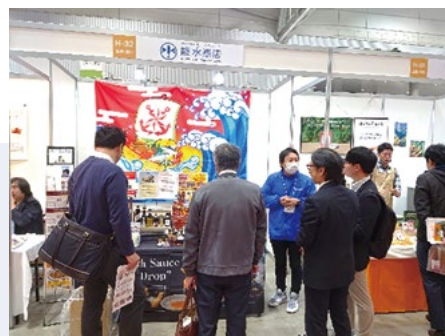


フードメッセinにいがた2023 (11/8~10)

日本海側最大の食の大商談会、フードメッセinにいがた2023が、11/8(水)~10(金)までの3日間、新潟市の朱鷺メッセにて開催されました。

今年はコロナ明けということもあり12,589名(前年比+3,430名)の来場者があり、出展された3事業所の皆様も自社製品のPRを行い販路開拓・拡大につながる商談会となりました。

※出展者:梅ちゃんfarm笠井、(株)能水商店、拓洋水産工業(株)



居酒屋Japan2024 (1/17~18)

東京、池袋サンシャインシティにて“居酒屋業界”と“飲食産業”をターゲットにした、年に一度の業界専門展示会に、能生地域で生鮮食品、食品等の製造販売を営む小規模事業者で販路拡大を積極的に推し進めたい意欲的な事業者を支援するため参加いたしました。当日は多数の来場があり、出展された事業者の皆様も自社製品のPRを行い販路開拓・拡大につながる商談会となりました。

※出展者:梅ちゃんfarm笠井、拓洋水産工業(株)



米田市長に要望書を提出

糸魚川経済団体連絡協議会
令和5年10月31日（火）

令和6年度に向け、地域産業の育成・振興につながる施策、中小企業に対する支援施策の拡充強化等産業振興施策に係る要望書を市長に提出しました。

要望事項

- ① 原材料高騰、人手不足、事業承継など経済環境変化に対する支援の拡充
- ② 公共工事の維持、確保と補助金による地域経済の需要喚起(工)の地域振興の推進
- ③ 人材育成への支援
- ④ 中心市街地の賑わい創出に対する支援
- ⑤ 商工団体への補助金の維持、確保
- ⑥ 脱炭素、エネルギー問題に対する研究、取組みの推進



能生火葬場の存続要望について(経過報告)

糸魚川市では能生火葬場について、令和6年度(令和7年3月31日)をもって廃止。また廃止までの間に大規模修繕が必要になった場合は、その時点で閉鎖することを検討しています。能生商工会では、能生地域区長連絡協議会及び能生地域活性化協議会、能生地域選出議員と連携し「能生火葬場の存続要望」を行ってまいりました。その経過についてご報告いたします。

月日・会場	内 容	月日・会場	内 容
R4 12/21 商工会館	【行政より説明】 能生火葬場の廃止について説明⇒ 説明会参加の商工会員より多数の反対の声	R5 9/6 商工会館	【商工会・区長連絡協議会・活性化協議会の三者で協議】 要望の回答に対する今後の対応協議⇒再要望書提出へ
R5 2/2 商工会館	【商工会理事会で協議】 対応協議⇒ 要望書提出へ	R5 10/10 商工会館	【商工会理事会で協議】 経過報告と対応協議⇒ 再要望書の提出へ
R5 3/16 市役所	【要望書提出(第1回目)】 能生商工会長、能生地域区長連絡協議会長、能生地域活性化協議会長、紹介議員(中村実様、田中立一様、利根川正様、伊藤麗様)の連名にて「能生火葬場の存続」について要望書を提出	R5 11/20 市役所	【要望書提出(2回目)】 能生商工会長、能生地域区長連絡協議会長、能生地域活性化協議会長、紹介議員(中村実様、田中立一様、利根川正様、伊藤麗様)の連名にて「能生火葬場の存続」について再度、要望書を提出⇒ 行政からは「必要性を認識しつつも大きな修繕を伴った再投資にはかなりの額を要するため、慎重な意見交換が必要」と意見。
R5 5/30 商工会館	【行政より回答】 要望書に対する回答の受取。 ⇒ 回答要約 ①現在の指定管理契約期間が終了する令和6年度末にて廃止(令和7年3月末) ②廃止までの間に大規模修繕が必要になった場合は、その時点で廃止 ③現契約期間中は閉鎖・廃止とならないよう修繕を実施しながら安定的な火葬業務の運営に努めていく ④時間的な余裕も確保できることから、今後も話し合いを重ねていく	R5 12/26 商工会館	【行政より回答】 再要望に対する回答。 ⇒ 回答要約 ①現在の指定管理契約期間が終了する令和6年度末にて廃止(令和7年3月末) ②廃止までの間には、必要な修繕を実施しながら、安定的な火葬業務の運営に努める ⇒ 方向性は変化なし
R5 6/26 商工会館	【商工会理事会で協議】 経過報告と対応協議	R6 1/24 市役所	【委員会傍聴】 市民厚生常任委員会にて「能生火葬場について」協議。大貫商工会長、池田地域区長連絡協議会長、伊藤能生地域活性化協議会長の3者で委員会傍聴。 ⇒ 内容要約 能生火葬場の施設概要、これまでの経過、火葬件数の推移等説明。委員からは地域からの声である点や廃止の再考、地域との話し合いや理解の必要性について意見あり。



⇒ 行政からは「社会情勢を考慮して本件を考えていく」「住民が主役、行政がサポーターとしての立場で市民生活を支えていきたい」と意見。



以上のとおりです。これまで2度の要望書を提出いたしました結果については、変わらない状況です。能生商工会、能生地域区長連絡協議会、能生地域活性化協議会では引き続き、本件の対応を協議してまいります。



翠ペイの詳細内容はHPをご覧ください。
HP : <https://suiipay.jp/index.html>



2/1(木)糸魚川市デジタル地域通貨「翠ペイ」運用開始 3/15(金)「翠ペイ」ide応援キャンペーン実施中

糸魚川市では、地域の持続的な発展を目的に糸魚川市デジタル地域通貨「翠ペイ」の運用を2月1日(木)より開始しました。

翠ペイの運営は、糸魚川信用組合、糸魚川商工会議所、青海町商工会、糸魚川市、当会の5団体により組織される「糸魚川市デジタル地域通貨振興協会」が事業主体となっており行っております。

翠ペイは、地域通貨プラットフォーム「チーカ」(株)トラストバンク提供)の仕組みを利用して地域通貨の発行・管理を行い、スマートフォンアプリまたは翠ペイカードでチャージされたデジタル通貨でキャッシュレス決済が出来るサービスです。チャージ金額は上限10万円、チャージ時に1%が付与されます。システム上、6ヶ月の利用期限が設けられておりますが、これから行政が関与する様々な事業や民間・団体が営むイベント

等でもポイント付与が予定されており、チャージ以外でもポイントを貯められる機会が設けられておりますので、都度更新される地域情報アプリ内やHPのおしらせをご確認いただき、お得に翠ペイをご活用ください。

併せて、3月15日(金)より「翠ペイ」ide元気応援キャンペーンが実施されております。1月1日に発生しました能登半島地震で、糸魚川市内の旅行業・宿泊業を中心にキャンセル等で経済的二次被害が出ていた事から、使用できる業種を飲食・宿泊・旅行業に限定し、消費喚起・誘客促進を図る事を目的としております。本キャンペーンでは、通常チャージ時に付与されるポイントが1%であるところ、15%付与されます(購入上限、3万円)。この機会にアプリのダウンロードや翠ペイカード作成など、是非ご検討ください。

〈予告〉糸魚川市内共通商品券の使用終了について

翠ペイの運用開始に伴い、**糸魚川市内共通商品券の発行が令和6年6月30日をもって終了いたします**(発行済みの商品券使用期限は、発行日より6ヶ月以内、または令和6年12月31日までとなります)。なお、市内共通商品券の発行終了後は、翠ペイによる贈答用カードの発行を開始する予定となっております。

青海町商工会との合併検討協議結果について(ご報告)

かねてより青海町商工会と合併検討協議を行ってまいりましたが、昨年10月2日の第3回合併検討協議会をもって、合併検討協議の中止と合併検討協議会の解散となりました。

能生商工会といたしましては、会員や商工業者、地域経済発展のため前向きな合併として協議してまいりましたが、大変残念な結果となりました。これにより令和7年4月の合併はありませんが、今後も青海町商工会とは同じ市内商工会として、協調融和をしてまいります。

商工会役職員

会長	一夫	実城	均睦	治勉	義正	一浩	司英	浩博	朗二	淳一	千代子	修徹	樹恵	香寛	貴寛	衣子	紀代	
副会長	和秀	城均	睦治	勉義	正一	浩司	俊英	博浩	朗二	淳一	千代子	修徹	樹恵	香寛	貴寛	衣子	紀代	
副理事	大田	中村	鈴木	小島	高鳥	石井	藤岡	笠原	久保	中村	中村	磯貝	藤齋	清水	塚田	稲葉	中嶋	
理事	貴田	大田	中村	鈴木	小島	高鳥	石井	藤岡	笠原	久保	中村	中村	磯貝	藤齋	清水	塚田	稲葉	中嶋
監事	小嶋	齊藤	山本	船田	梅澤	菅原	駒村	園田	池田	富美	代							
監事	小嶋	齊藤	山本	船田	梅澤	菅原	駒村	園田	池田	富美	代							
経営支援室室長代理	山本	船田	梅澤	菅原	駒村	園田	池田	富美	代									
経営支援室主任	山本	船田	梅澤	菅原	駒村	園田	池田	富美	代									
経営支援室主任	山本	船田	梅澤	菅原	駒村	園田	池田	富美	代									
経営支援室主任	山本	船田	梅澤	菅原	駒村	園田	池田	富美	代									
経営支援室主事	山本	船田	梅澤	菅原	駒村	園田	池田	富美	代									
経営支援室書記	山本	船田	梅澤	菅原	駒村	園田	池田	富美	代									
経営支援室書記	山本	船田	梅澤	菅原	駒村	園田	池田	富美	代									

事務局人事

～お世話になりました～

令和6年3月31日退職

経営支援室主任 菅原 貴寛
(人事交流で青海町商工会へ異動)

経営支援室主事 駒村麻衣子
(人事交流で大浦安商工会へ異動)

上記異動と併せて、4月1日より能生商工会に2名の方が着任されます。着任の挨拶及び自己紹介は次回のあけぼのに掲載いたします。

編集後記

まずもって、令和6年は元日に最大震度7を記録した能登半島地震が起こり、当県各市でも多くの方々が様々な被害に見舞われました。被災された皆様におかれましては、一日も早く復旧復興が進み、いつもと変わらない日常に戻る事を祈っております。

さて、春を告げる草木が芽吹く時期になってまいりました。春は出会いと旅立ちの季節でもあります。卒業式や入学式、あるいは入社式などを通じて、様々な方の生活環境が今までは分岐いたします。私、編集後記を担当させていただいております菅原もこの度、10年お世話になりました能生商工会から青海町商工会へ異動する事になりました。能生は商工会職

員として初めての赴任地であり、会員・職員の皆様から地域のこと・様々な事業を行う上でのイロハを懇切丁寧に教えていただきました。支えていただきました。

改めて、様々な機会でも携わっていただきました会員事業所の皆様をはじめ、地域の皆様、お世話になりました。拠点が少ない離れませんが、能生地域の皆様が変わらず元気に活躍される事を祈っておりますし、私も能生での経験や築かせていただいた皆様との繋がりを活かして、新天地での業務及び双方の協調融和・共存共栄により地域発展の一助になれるよう努めてまいります。

10年間、誠に有難うございました！
(菅原記)